

2018年の沖縄県内における麻疹の大規模流行

麻疹とは

麻疹は、麻疹ウイルスによる感染症で、ヒトからヒトへ空気感染するなど、強い感染力があります。発症すると発熱、発疹、カタル症状（鼻水、咳、眼やになど）が出ます。重症化すると、肺炎や脳炎を発症する場合があります。

日本は2015年3月に、WHO西太平洋地域麻疹排除認定委員会より、麻疹排除状態にあると認定されました。しかし、現在も海外由来型による流行が、全国的に散発しています。海外からのウイルスの持ち込みを完全に防ぐのは難しいですが、持ち込まれたとしても流行を拡大させないことが重要です。

現在、麻疹風しん混合ワクチン（MRワクチン）として、2回（1歳時と小学校就学前）の定期接種が実施されています。

2018年の流行について

2018年3月、麻疹を発症し、感染力のある状態の海外の観光客が来県、以後3日間にわたり沖縄本島内を観光し、観光先の従業員や、居合わせた人等が感染しました。更に、これらの者を感染源とする職場感染や院内感染、家族内感染などを経て感染は広がり、終息宣言する同年6月までに、101人の麻疹患者が発生し、近年の国内の流行規模としては最大となりました（図1）。沖縄本島を中心に県内全域から麻疹の報告がありました。年齢別では、20歳から40歳代（67人、全体の約66%）を中心に流行しました。また、ワクチン接種歴については、不明を除き、未接種者（20名、全体の約20%）及び1回のみ接種者（21名、同約21%）が多くを占めました（図2）。主な感染場所は、大型商業施設や医療機関で、その他、家族や同居人からの感染もありました。

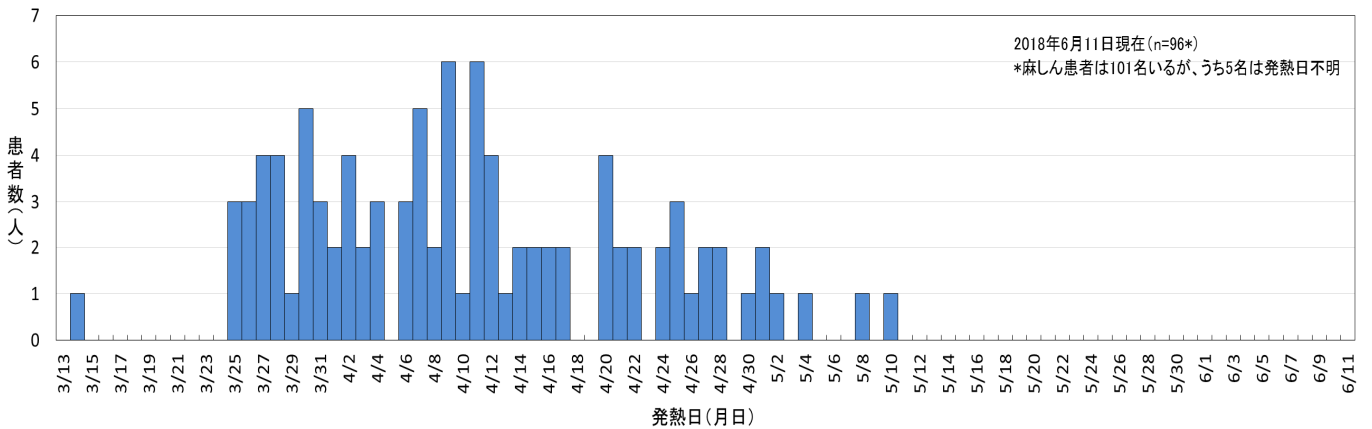


図1. 麻疹患者の発生状況（2018年3月～2018年6月）

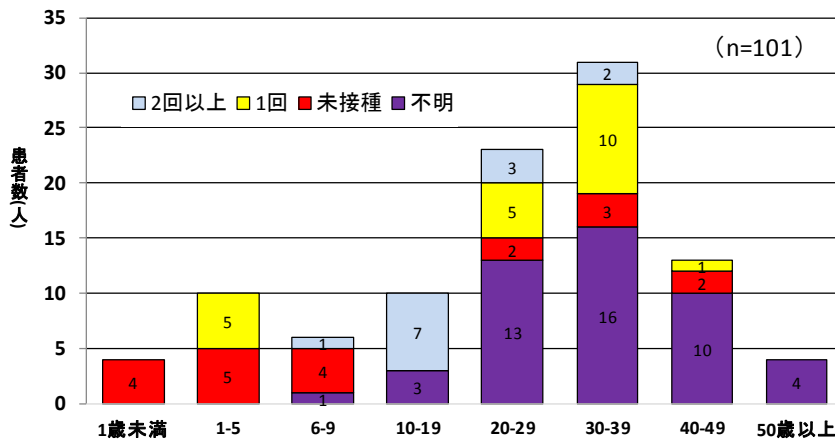


図2. 麻疹患者の年齢分布とワクチン接種

麻しんへの抵抗力

ワクチン接種をすることで、麻しん抗体を獲得することができます。抗体を保有しているということは、麻しんに対する抵抗力があるということです。2015年～2017年に、ゼラチン粒子凝集（PA）法を用いて当所で実施した県内の麻しん PA 抗体保有調査では、過去3年間とも0～1歳を除いて10～30代において、麻しんの発症予防に十分な抗体価（128倍以上）を保有する割合が低いことが分かりました（図3）。

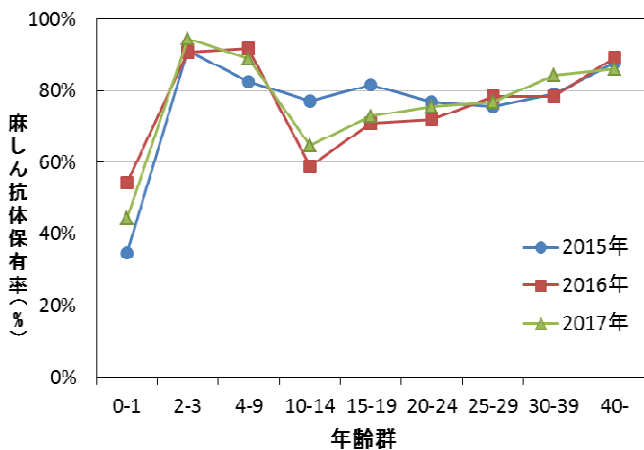


図3. 2015～2017年の沖縄県の麻しん PA 抗体（128倍以上）保有状況

予防と対策

ワクチン接種が最も有効な予防法です。

これまで麻しんにかかったことがなく、以下の方は、ワクチン接種の実施をご検討下さい。ワクチン接種についてご不明な点は医療機関にご相談下さい。

1. ワクチンの接種歴がない方
2. 接種歴が1回（免疫が十分獲得できていない可能性があります。）のみで、
 - ① 麻しんにかかるリスクがある職種（医療従事者など）や、かかることで周囲への影響が大きい職種（教育関係者など）に従事する方
 - ② 麻しんの流行国に渡航予定の方

各種ワクチン接種を実施している県内医療機関は、沖縄県医師会ホームページに掲載されています。

ワクチン接種実施機関一覧
 （県医師会ホームページ）
<http://www.okinawa.med.or.jp/>

【企画管理班、衛生生物班】

麻しん風しんに関する情報掲載サイト一覧

- 沖縄県感染症情報センター
<https://www.pref.okinawa.jp/site/hoken/eiken/kikaku/kansenjouhou/home.html>
- 沖縄県はしかゼロプロジェクト
<http://www.osh.or.jp/hashikazero/>
- 厚生労働省ホームページ「麻しんについて」
https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/measles/index.html
- 厚生労働省ホームページ「風しんについて」
https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/rubella/
- 厚生労働省ホームページ「麻しん・風しん」
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/kekkaku-kansenshou21/index.html
- 国立感染症研究所ホームページ
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/ma/measles.html>